



目録情報の基準とその運用 (図書編)

国立情報学研究所 開発・事業部
コンテンツ課 目録情報管理係

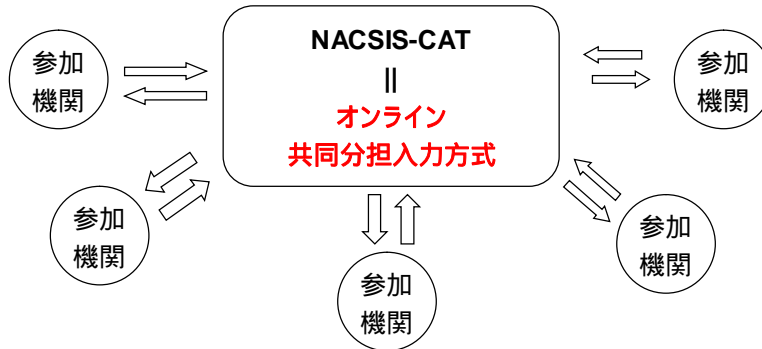
平成18年度総合目録データベース実務研修



図書編の内容

- ・講義(9:30 ~ 11:00)
 - ・各種規則の制定
 - ・Q&ADBの運用
 - ・レコード調整 など
- ・演習(11:15 ~ 12:00 , 13:00 ~ 14:00)
 (2日目 9:30 ~ 12:00)
 - ・回答作成 班別討議 発表(詳細は演習の最初に)

NACSIS-CATの「規則」とは？



各機関がデータを利用するには、「一定のルールに従い、目録作成を行うこと」=「一定水準以上の目録を作成すること」が必要。

「規則」はNACSIS-CATの円滑な運用のためになくてはならないもの。

準拠する目録規則

タイトル = 日本語、中国語
韓国・朝鮮語

日本目録規則87年版改訂版
(NCR 87R)

国立国会図書館
「日本目録規則」適用細則

タイトル = 日本語、中国語
韓国・朝鮮語、以外

英米目録規則第2版 (AACR2)
1988年改訂, 1993年修正

Library of Congress
Rule of Interpretations (LCRI)



NIIが発行している規則

目録情報の基準(第4版)

データベースの構造やデータ作成のための原則・考え方を示したもの

各種資料の
取扱い・解説

目録システム・ コーディングマニュアル

目録情報の基準に従って、実際にレコード登録を行う際の、データ記入の標準化を図る。

各種資料の
コーディング
マニュアル

【多言語】

- 平成7年度 中国語資料
- 平成14年度 韓国・朝鮮語資料
- 平成15年度 アラビア文字資料
- 平成18年度 タイ文字資料, デーヴァナーガリー文字資料

【特殊資料】

- 平成15年度 和漢古書
- 平成16年度 教科書
- 平成18年度 展覧会カタログ資料
- 平成18年度 視聴覚資料(予定)

NACSIS-CAT関連マニュアル

http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/ncat_manu.html



規則の種類 その他

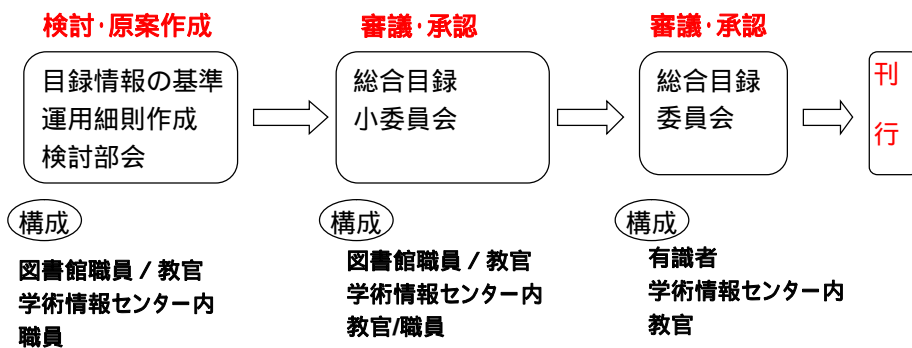
オンライン・システム・ニュースレター
(1986/11 ~ 2000/3)

オンライン・システム・
ニュースレター抜刷集

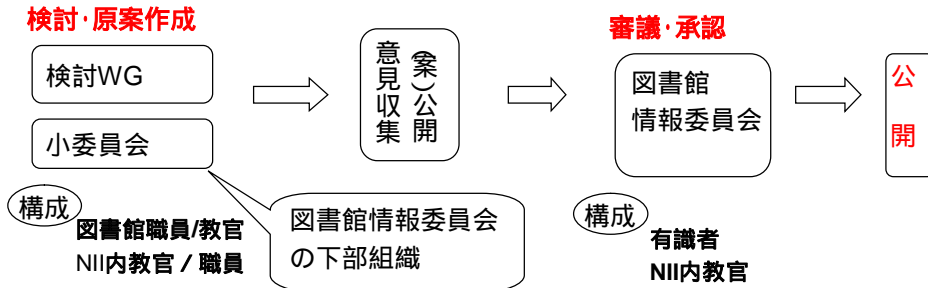
NACIS-CAT/ILL
ニュースレター
(2000/4 ~)

システムの改善, 基準の解説, 検討・懸案事項等の決定報告等

NACIS-CAT/ILL Q&ADB
(目録所在情報サービスに関する質問書/
回答書データベース検索システム)



規則の制定まで(H.13~H.17)



- 韓国・朝鮮語資料の取扱いに関する小委員会(平成12年度~14年度)
- 古籍の取扱いに関する小委員会(平成12年度~)
- 和漢古書等の取扱いに関する小委員会(~平成15年度)
- アラビア文字資料の取扱いに関する小委員会(平成14年度~15年度)
- 教科書の取扱いに関する検討会議(平成16年度)
- 継続資料の取扱いに関する小委員会(平成17年度)

検討・原案作成

検討WG



意見収集
(案)公開



審議・承認

(検討中)



公開

構成

図書館職員
NII職員

- タイ語等資料の取扱いに関する検討会議(平成17年度)
- 展覧会図録等資料の取扱いに関する検討会議(平成17年度)
- 視聴覚資料の取扱いに関する検討会議(平成18年度)



NACSIS-CATにおける図書

- 「雑誌」の条件に当てはまるもの以外
雑誌の条件: [終期を予定せず逐次的に刊行され、
個々の出版物理単位を識別・順序付けする番号がある資料]
- これ以外は基本的に「図書」として登録

参考: レコード登録件数(平成18年9月23日現在)

図書書誌レコード件数	7,612,902件
図書所蔵レコード件数	85,413,140件
統一書名典拠レコード件数	25,892件
著者名典拠レコード件数	1,406,140件



図書目録品質管理

NACSIS-CAT/ILL質問受付

NACSIS-CAT/ILLQ&ADB検索

http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/support_top.html

NACSIS-CAT重複書誌報告受付

NACSIS-CAT図書書誌
修正報告受付



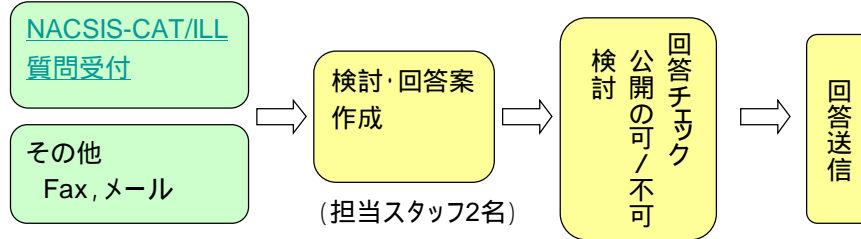
受付件数

作業内容	年間件数	月平均
Q&Aデータベース(図書)	775件	約65件
書誌修正報告	1,117件	約93件
重複書誌報告	3,816件	318件

(平成17年度)



Q&A業務の流れ



－ 懸案事項については、月1回ミーティングを行い、協議、職員同士の周知を行う。

各参加機関

NII

Q&ADB受付件数(平成18年度)

受付月	4月	5月	6月	7月	8月
受付件数	46	37	42	71	63



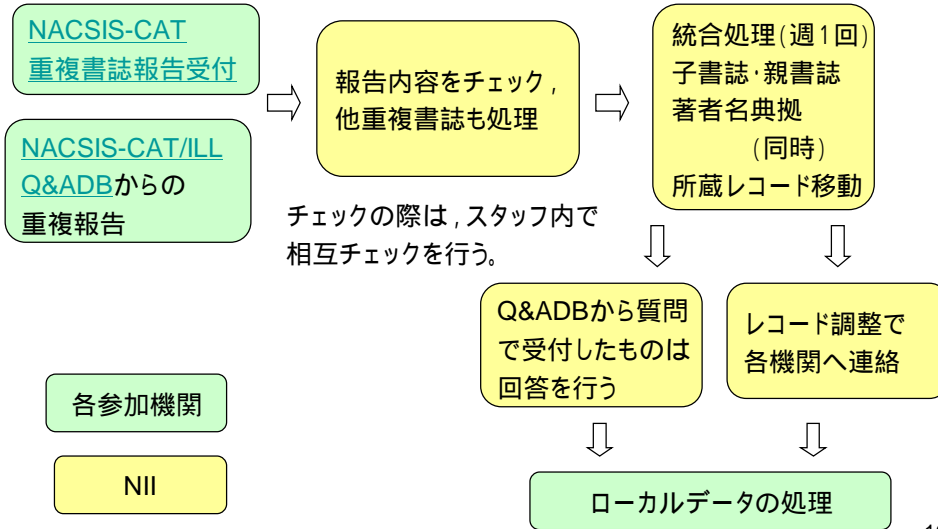
質問の傾向

- 基礎的な事項 = 「規則」を読めば分かる内容
 - Webcatを修正するにはどうしたらよいか。
 - CWフィールドは繰り返してよいのか。
 - 作成館へは自分で連絡しなければならないのか
- 調整を行う前に、あらかじめNIIの見解を問う内容
 - 作成館判断によるもの(明らかに間違いと言えないもの)はまず作成館に問い合わせるよう回答。(調整不成立時は別)
 - NIIが全てを決定できるわけではない。

基礎的な知識・処理方法が伝えられていない可能性がある。

回答の際は、できる限り根拠(規則)を挙げる。

重複書誌の処理





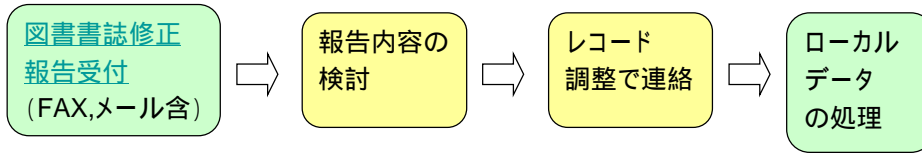
重複書誌の傾向

- 刷増であるものを版表示と捉え別書誌に
- 多巻物で、途中から出版者変更したものを
NOTEに記述せず別書誌に
- 修正登録するつもりが誤って流用登録 別書誌に

重複報告受付件数(平成18年度)

受付月	4月	5月	6月	7月	8月
受付件数	213	302	353	298	335

修正報告の処理



・原則として、所蔵館へ
連絡が必要なもののみ受付。

各参加機関

NII

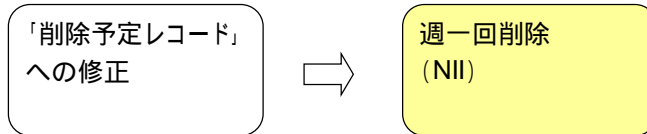
修正報告受付件数(平成18年度)

受付月	4月	5月	6月	7月	8月
受付件数	66	143	94	92	87

- 「総合目録」としての「質」と各機関の目録としての「質」
 - 基本は「重複書誌」を作らないこと。
 - あくまで「共同分担入力方式 = 皆で共有する目録」であるということを忘れずに。
 - 誰のための目録か？自分が作りたい目録, 自館の都合にあった目録, とどう調整するか。
 - ILLでも使うということを忘れずに

- 別書誌？ 統合？
 - 「固有のタイトル」とみなすか？
 - 版違いとみなすか？
 - 出版者の変更か？
厳密な規則がない部分をどう判断するか。

削除予定レコード



問題点

- ・正しく「削除予定レコード」と入力されていないことがある。
- ・所蔵を外していないものは削除できない。

- レコード調整の問題点
 - コーディングマニュアルに沿って調整することが基本
 - 作成館の負担
 - 作成館を避けるために書誌を作成しない？
- 課題検討プロジェクトの報告
- 研修体制の見直し



課題検討プロジェクト: NIIにおける対応

1. NACSIS-CAT/ILL運用ガイドライン
2. 外注のための仕様書モデルの提示
3. 研修の強化と資格・認定制度の提案
 - 講習会等検討WGの設置(活動中)
4. 図書書誌レコード調整方式の改善
 - レコード調整方式検討WGの設置
5. 雑誌所蔵更新への強制力
 - 全国雑誌所蔵データ更新作業
6. 図書館評価のための基礎的数値の開示
 - NACSIS-CAT/ILL業務分析表の作成・配布

NACSIS-CATレコード調整方式検討ワーキング・グループ (H17.11 H18.3)

- 「書誌ユーティリティ課題検討プロジェクト」の「NIIアクションプラン」のひとつとして設置
- 図書レコード調整方式の見直し, 新しいレコード調整方式の検討が目的
- 実際のWGでは, 早急に実現可能な応急策を検討
報告書にて5つの方策を提案 (次スライド)

「NACSIS-CATレコード調整方式検討ワーキング・グループ報告書」
http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/ncat_info_WG_record_report.pdf



レコード調整と課題

【5つの応急策】

1. 参加組織情報への連絡先情報の記入必須化
2. 修正後の所蔵館連絡のNII代行依頼範囲の拡大
3. [レコード調整用標準フォーマット](#)の提示
4. コーディングマニュアル「21.1 図書書誌レコード修正事項一覧」の見直し
5. NOTEフィールドへの運用注記の記入

1～3は、平成18年8月より実施開始

([NACSIS-CAT/ILLニュースレター18号](#))



おわりに

- 「規則」に従って作成するのが基本
必要に応じてその都度確認を。
- 共同分担入力方式で、データを共有している
ことを忘れずに